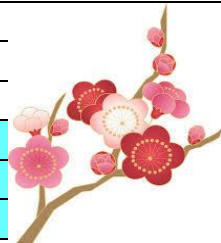


●今こそ「己に徹」する時、凛として (妥協を排して、気の緩みを排して、甘えを排して、冴え冴えとして、きりりと 等が類語) 勝負する。

【2月行事予定】 3年生関係

日	曜	行 事			
1	金	選抜 I 生徒自宅学習			
2	土		★		
3	日		★		
4	月	小論模試			○
5	火	45分×7限 東風 (こち) 吹かば匂ひおこせよ梅の花		※	○
6	水				○
7	木				○
8	金				○
9	土		★		
10	日		★		
11	月	建国記念日			
12	火			※	○
13	水				○
14	木				○
15	金				○
16	土		★		
17	日		★		
18	月	1・2年生 考査発表 (下校時間：18:00)			○
19	火			※	○
20	水	45分授業			○
21	木				○
22	金	特別時間割最終日			○
23	土		★		
24	日		★		
25	月	国公立大学前期試験			○
26	火	国公立大学前期試験		※	○
27	水	5限LHR、6・7限卒業式予行			○
28	木	40分×7限 卒業式準備 大掃除			○



3月1日 (金) 卒業式

★教室開放

※スクールカウンセラー

○食堂・パン販売

●国公立大学 前期試験まであと20日

できる! やりきる!

◆先日あるクラスで、数年前に大学受験を経験したある先生から、貴重なアドバイスをいただきましたので紹介します。

- 前期、後期ともA判定で同じ大学に出願。センター試験は、自己最高を得点し、最後の模擬試験から90点アップした。しかし
- 自分なりに分析してみると……
 - ①自分では緩んでいないつもりだったが、やはり「大丈夫だろう」という「気の緩み」があった。
 - ②実は、記述力には自信がなかった。どのように対策を立てたらよいか具体的に分らぬまま、結局、先生のところへ質問や相談をすることなく受験してしまった。
 - ③判定が厳しくても合格した友人たちは、自分なりの学習方法を模索しつつ確立していた。
- どういう人が合格するのか。→ これまでのリズムを変えない人。これまで通りの生活を維持し続けた人。

【以上をまとめてみると】

①出願と合格は同じではない。センター試験だけでは決して逃げ切れない。

②「我流」の学習方法になっていないか、冷静に分析し、助言を受ける。

③教室（周囲に他人がいる環境）で集中する訓練を続ける。

- ・長時間、人の気配を感じつつ集中する。試験会場本番を常に意識、想定する。
- ・二次試験の試験時間は120分、180分などが通常。集中力の持続、「体力」「耐力」が今こそ問われている。

★ここまでくると、戦うべき相手が実は「自分」であることに誰しも気づきます。

- ・自信のない自分、不安に押しつぶされそうになる自分、つい妥協したくなる自分、過信して怠けたくなる自分、周囲ばかりが気になり集中できなくなる自分……

負けずに頑張れ! 舟入3年生の一層の健闘を応援します。